第33回全国大会開催決定

昭和61年４月19日～20日・NYC

NYCに集合！

第三十三回友愛青年連盟全国大会は、四月十九日、二十日の両日にわたり東京代々木のオリンピックセンターにて開催される。

本年は、本連盟が真骨頂とする〝平和〟が問われる「国際平和年」であり、昨日のIYYで活性化が計られた友愛運動に期待されるところは大きい。この期待に応えるべく今年は地域支部との連携を伴う運動の展開を重点目標に全国大会は開催される。

全国大会開催要項

主催趣旨　友愛青年連盟　新たな友愛運動、青年運動を創造するために昭和六十一年度の運動方針、事業計画、予算、組織活動方針を審議決定する。

期日　昭和六十一年四月十九日(土)～四月二十日(日)

会場　国立オリンピック記念青少年総合センター　東京都渋谷区代々木神園町三―一

議題　○一(報告事項)　昭和六十年度会務報告　同年度決算報告、会計監査報告　(二)本部提出議題案①昭和六十一年度運動方針②同年度事業計画③同年度予算④同年度組織活動方針⑤同年度役員選出⑥大会宣言　(三)地方提出議題案　都道府県支部連合会、支部、地区からの提出議題案は、大会議事規則第六条により昭和六十一年四月十二日までに、議題案及び提案理由を文書にて事務局長に提出する。四代議員提出議題案、大会代議員は、大会議事規則第七条により、昭和六十一年四月十八日までに追加議題を事務局長に提出することができる。この議題案を審議するかは、大会運営委員会で決定する。

代議員　(一)各支部、地区は一名の代表を代議員とする。(二)都道府県支部連合会は代表一名を代議員とする。(三)本部役員（中央常任委員、中央委員、統制委員）

代議員資格　次の条件の全てを満たした大会資格審査委員会で承認された者。(一)大会一ケ月前の三月二十八日までに正式参加費を納入した者。(二)都道府県支部連合会、支部、地区で代表に選出された者。(三)昭和六十一年四月十二日までに代議員名簿を大会準備委員会に提出した者。

代議員の経費　(一)居住地最寄りの国鉄駅から東京までの往復運賃及び(二)代議員の会期中に要する経費については本部が負担する。

オブザーバー　(一)オブザーバー名簿を昭和六十一年四月十二日までに大会準備委員会に提出する。(二)全ての会議に参加を認めるが、議決権はないものとする。(三)旅費は個人負担とする。

参加費　三〇〇〇円

委任状　代議員を送れない組織及び欠席する本部役員は、委任状を提出する。

今年の全国大会は、昨年IYYで盛り上がった勢いを更に大きくし、平和年と制定された86年を、友愛国際平和年とするべく、自国と平和な社会の建設に邁進するために、まず身近な事柄・身近な人、身近な目的を対象に〝やさしさ〟と〝たくましさ〟を兼ねそなえた大会づくりをしていきたい。（大会実行委員）

日程

	4月19日（土）
12：00―	中央常任委員集合（NYC2階食堂）
午後	
1：00―	受付
2：00―	開会式
3：00―	本会議(1)
4：00―	分科会
5：00―	
6：00―	オリエンテーション
7：00―	分科会
8：00―	（役員選考委員会）
9：00―	
10：00―	
11：00―	
	4月20日（金）
午前	
8：00―	朝食
9：00―	本会議(2)
10：00―	
11：00―	閉会式
12：00―	

発行所
友愛青年連盟
東京都文京区音羽1-7-1
電話 東京(941)2801
発行人　永田　清成
編集人　斎藤久十志
定価　1部　70円

綱領

一、われらは、自らの基盤にめざめ相互の人格を尊重し健全所期を次愛社会の実現に邁進する。

一、われらは、全人主義の排除を排除し日本の国民として公正な識見を確立する。

一、われらは、科学技術の発展と生産の増強を図り、豊かな文化的な福祉の国家を建設する。

一、われらは、全世界の人々と共に、がりのもとに国際連帯の重要性を実い。もって世界平和と人類の福祉に寄与する。

会費納入のお願い

昭和六〇年度の会費未納の各組織、個人会員の皆様は早急に会費を納入して下さい。

支部・地区は、登録会員名簿（氏名住所、生年月日を記入した連記名簿）と入金申込書と共に、次の通り納入して下さい。

〈支部〉一万円上
基本会費二万円＋（二十名を越えるその人数×千円）＝会費額

〈地区〉五万円上
（十名以上二十名未満）
会費額　五千円＋（五名を越えるその人数×千円）＝会費額

〈個人会員〉
会費額　四千円
（いずれも年額。入会金は千円です）

社会開発セミナー

小野町を最後に全日程終了する。

昭和六十一年度友愛社会開発セミナーは、講演会、研究協議会とも実りある効果を挙げて終了した。

◇八戸◇

青森県八戸支部（山本敏昭支部長）では、三月十日（月）に、江陽会館（八戸市廻館二丁目一八―三四）において、以前講師をお引き受け下さった流通経済大学教授渡辺福史先生に「共供達は今、豊かな地域作りと青少年の健全育成」を演題に講演会を開催した。渡辺博史先生は、専門が社会学と社会教育調査法で、青少年育成国民会議併任委員、日本青年協会教育審議会委員兼講師を務め昭和五十三年には、総理府主催第二十回日本青年海外派遣（アフリカ班）団長、昭和五十五年には、青少年教育振興団団長など歴任し「青少年団体活動調査の手引き」「青少年の社会参加」など数多くの著書及び論文を出して、社会教育に幅広く貢献しており、今回の講演では、今問題となっている〝いじめ〟を題材に教育の行り方と地域社会が果たせる役割を自らの研究を基に話して頂いた。

当日、会場は満員名を超す聴衆が駆け付け、熱心に講演を聴いて行った。

◇十和田◇

青森県十和田支部（戸来敏支部長）では、三月十一日（火）に、十和田市農協大ホール（十和田市西十三番町四の二十八）において、元稲田ラグビー青春・人生を演題に、早稲田大学ラグビー部監督日比野弘先生に講演して頂いた。

ALL FOR ONE, ONE FOR ALL がラグビーの全てだと語る日比野先生は、国民スポーツまで成長したラグビーを通し青少年の健全育成を主眼として、自らの経験と指導者としての青年に抱く夢をもとに話して頂いた。

会場には、五百名を超える熱心な中高生ラガーや県教育委員会、関係諸団体の方々が参集し、日比野先生の話に耳を傾けていた。

十和田支部では、昨年も神沢惣一郎先生を講師に招き友愛社会開発セミナーを開催し、積極的に地域開発と地域との連携を図っており、今後各々の活動に期待がよせられる。とだろう。

◇小野町◇

福島県小野町支部（金谷寿一支部長）では、三月二十二日（土）に、小野町多目的研修センター（福島県田村郡小野町大字小野新町字中通り二番地）において、NHKチーフアナウンサーの村田幸子さんに「ことばと人づきあい」を演題に講演をして頂いた。

村田さんは、昭和三十八年にNHKに入局し、主に社会部の高い報道番組を中心に活躍しておられるベテランアナウンサーで、今回は、日常何気なく使われる〝ことば〟を人と人との交流の中にどのように生かすかをテーマにほのぼのとした講演をして頂いた。（八戸・十和田詳細は面掲載）

第一・四号議題案

運動方針と組織活動方針

第三十三回全国大会議題案は、昨年の「国際平和年」を契機として、推し進めて来た地域に根ざした活動の展開を主眼として、自国と平和な社会をめざす本連盟の真骨頂たる〝平和〟が問われる今年の「国際平和年」の事業の推進と積極的に取り組み、個人と個人の友愛関係の樹立という本来の運動の原点に戻り、地域社会の中で確固たる活動体、青年運動体としての活動を展開していく方針の七点案案された。

第一号議題案・昭和六十一年度運動方針の重点活動案は次の通り。

一、友愛精神を広め、全国に友愛の仲間づくりを積極的にすすめよう。

二、平和運動を友愛学習及び政治、経済、社会問題等の学習と積極的に取り組み、地域社会のリーダーとしての責任になろう。

三、国際平和年事業に積極的に取り組もう。

四、新たな国際交流のあり方を考え、真の友愛外交の創造と推進に積極的に取り組もう。

五、財政の安定と青年運動体としよう。

この五つ柱を中心に運動を進めて行く方針。

また、第四号議題案である組織活動方針は昨年同様、組織の拡充を重点目標とし、全国の組織会員の再確認と新組織の結成、中広い学習と指導者の養成、民泊受け入れ活動を中心として地域ぐるみの運動の推進と新たな国際交流の模索、運営方法の確立、パンフレット、ポスターの作成と機関紙、雑誌の積極販売、社会問題の解決と地域開発の促進といった事が盛り込まれている。

原稿のお願い

友愛新聞は、本部と各組織、各会員同志の連絡・情報交換にとって非常に重要なものです。

各組織での活動を忌憚に書いて送って下さい。（写真もつけて）

昨年のリーダースキャンプより

バイオ技術ととりくむ メナード

男は、妙に甘えたり むきになったり 世話がかかる だから、可愛い。

風間杜夫

髪を守り、肌のうるおいを保つ新・男性化粧品ギーベル。知的でライトなモダンスパイシーの香りが、ナイーブなやさしさを演出します。

メナード新・男性化粧品
ギーベル
メナード化粧品は心をこめてメナードレディがお届けいたします。

第二号議題案 事業計画

社会開発セミナー リーダースキャンプ 東南アジア使節団 日中友好親善使節団 日本語・英語弁論大会 など

昭和六十一年度の事業計画は、運動方針及び組織活動計画に基づいて議題案が出されている。

まず、社会開発のための事業としては、友愛社会開発セミナーを開催する。これは、研究協議会、講演会、中央研究協議会の三種類にわけて実施する様である。研究協議は、各種テーマの研究、討議として会員の資質の向上を図るという事に趣旨があり、内容としては、活動方法、組織運営、友愛意識などの学習、会員相互の交流、活動情報の交換、地元講師による講演、テーマについての討議などを行う。講演会は、政治、経済、社会、文化などの諸問題について青年、市民の意識の高揚を図る事を趣旨とし、対象も一般民とする事が研究協議会と異なり、内容も中央及び地元講師の講演と質疑、友愛の紹介を行なう。中央研究協議会（第二十回友愛リーダースキャンプ）は、趣旨を運動展開における活動方法、組織運営及び社会問題などを学び最高のリーダーとして、対象を本部役員、連合会役員、支部長及び事務局長クラスとする。この友愛社会開発セミナーについて本部事務局側は、一年に一～二回程度著名な講師を呼んで千名を超える大会を運営し、広報活動の活性化を図ると共に各開催地及び担当組織にインパクトを与え、地域と地域の連帯、地域と本部との連帯を強める事を目的としている。

事業計画の二つ目、国際交流活動は、派遣及び受け入れ事業と国際教育の事業とにわかれ、前者の具体的なものとして、第二十二次友愛東南アジア使節団、第十次及び第十一次日中友好親善友愛使節団、第十三回友愛アジア青年指導者セミナー（趣旨・アジア地域の青年に我国の社会事情を理解する機会を提供し、国内の各組織においては、アジア青年との交流を図る）、昭和六十一年度青少年指導者招へい事業（趣旨・本連盟と相手団体の関係を強化し、今後の交流活動の発展に役立てるため、青少年指導者を招へいする）、また、総務庁、中青連他関係団体が主催する派遣事業への積極的参加を進めていく方針との事である。特に国際青年年を記念して進められた事業（青年の村など）の継続に対しても積極的に参加していくとの事である。

国際教育の事業としては、本年で十二回目を迎える全日本英語弁論大会（通称鳩山杯）に加え、昨年国際青年年の記念で行なわれた友愛杯争奪日本語弁論大会を今年も継続して開催し、英語の弁論大会同様、恒例化していく事が挙げられている。

友愛社会開発セミナー開発

青森県八戸市・十和田市

三月十日（月）午後六時より、青森県八戸市・江陽会館に於いて、友愛社会開発セミナー八戸講演会が、友愛八戸支部（山本敏昭支部長）主催により開催された。

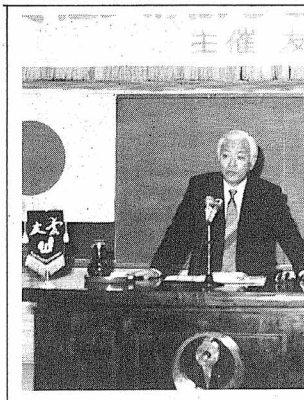
講師には、渡辺博史先生（流通経済大学教授）をお招きし、現在大きな社会問題となっている"いじめ"にスポットを当て、「子供達は今」と題し行われた。

子供達を取り巻いている親、学校（教師）、行政、青少年団体等が互いに協力してこの問題に立ち向かわなければならない。そして、自律的な子供になるよう地域ぐるみで取り組むことが大切である。と切々と訴える渡辺先生に集った人々も熱心に聞き入っていた。

当日は、地元教育関係者及び父兄をはじめ、八戸支部会員関係者多数（約一〇〇名）がつめかけ、マスコミ等さかんに取り上げている"いじめ"について、その根源はどこにあるのか、まだ、それをなくす方法はないのか、今何が出来るのか等身近な問題として考えさせられた。

聴衆からは、近々にもう一度、渡辺先生をお招きしてお話を頂きたいとの声が多数聞かれた。

（写真左上）



「子供達は今」　渡辺博史先生

「早稲田ラグビーと青春・人生」　日比野　弘　先生

三月十二日（火）午後六時より十和田市農業協同組合大ホールにおいて、友愛社会開発セミナー十和田講演会（友愛市民大学講座）が、友愛十和田支部（台来　勉支部長）主催により開催された。

講師には、日本ラグビー界の代表的指導者である日比野　弘先生（早稲田大学体育局教授・同大学ラグビー部監督）をお招きし、「早稲田ラグビーと青春・人生」というテーマで講演をお願いした。

日比野先生は、近年失われつつあるアマチュア精神の大切さ、オールフォアワン、ワンフォアオール、そして、ノーサイドというラグビー精神の素晴らしさを二時間にわたり話された。

当日は、地元高校のラグビー部の生徒達も多く十和田市がつめかけ（約六〇〇名）、日比野先生の話に聞き入っていた。

翌十三日は、青森県ラグビーフットボール協会及び十和田ラグビーフットボール協会主催の実技指導が行われた。名監督日比野先生の指導ということで、参加した高校生達もいくぶん緊張しながらも真剣な面持ちで指導を受けていた。

（写真右）

お願い

本部では、現在来たる第三十三回全国大会に向けて"意見書"を募集しております。

"こんな催しをやってみたい""有名な誰かが知っている人を講師に呼びたい"など友愛に関わる事や地域で困っている事、又青少年健全育成の為に一案のある方、アイデアに富み面白い意見や個人ではなかなか実現しにくい事業など企画・運営をやってみたいと思っている方、どんどん送って下さい。

中央日誌

3／11　十和田講演会
／12　友愛クラブ（キャピトル東急）
ユースクション特別委員会（日本青年館）
／22　小野町講会
／27　第二十五回NYC総会（NYC）
／28　東京都YY総会（セントラルプラザ）
4／7　友愛婦人会（はなれ）
／9　友愛クラブ（キャピトル東急）
／10　第十次友愛日本好親善参観団出発

音羽通信

第十次日本友好親善友愛使節団（参観団）が日本駐ケ支京区議会議員を団長に、四月十日（木）成田空港より出発した。

一行は、四月十日から十六日まで、主に参観を目的として北京、蘇州、上海を巡る。

◆　◆　◆

OAB（オーストリア勤労青年連盟）四十周年記念式典が、四月八日（火）、オーストリア共和国大統領、臨席のもと行なわれた。

本連盟から深津栄一副会長夫妻・中嶋信行相談役夫妻が四月五日（土）式典出席の為、成田を出発した。一行は十二日（土）までウィーンに滞在する。

◆　◆　◆

十軍クラブ四連覇を迎える第六回友愛杯争奪バレーボール大会が今年も四月二十七日（日）と二十九日（火）の天皇誕生日の二日にわけ開催される。

場所は、江東区門前仲町の商船大学体育館で行なわれます。

年々レベルの向上するそのプレイは今年も白熱した大会に盛り上げるだろう。

◆　◆　◆

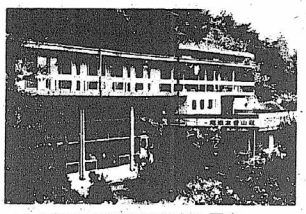
音羽の山にも桜が咲きました。昨年は四月八日頃とかなりそうです。風も暖かになり、過し易いこの季節、"これしたい、あれしたいと想った冬の日の想いを思い出して、おもいっきり外に出てみてはいかがですか。春眠暁を覚えずも中々捨て難いのですが、陽に照らされた萌える緑を見に、子供の頃よく行った公園の丘に遊びに出るのも楽しいものにならないでしょうか。

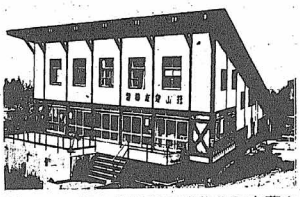
インテリア時計製造販売
ホダカ　クロック
株式会社穂高産業
代表取締役　渡辺義隆
本社　岐阜県美濃加茂市下米田町小山160-2
〒505　TEL05742-5-2789（代表）
第一工場　美濃加茂市下米田町小山
第二工場　美濃加茂市枚野町
営業所　岐阜市高野町３丁目

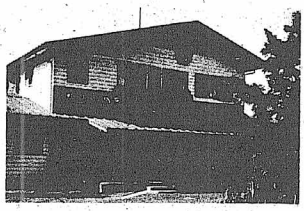
明日を拓くシステムと技術の東洋実業グループ！
●清掃等建築物の環境衛生一般管理●冷暖房空調、電気関係等設備の管理●警備、保安●案内、受付、電話交換、駐車場管理●公園管理●原子力セキュリティ、放射線管理
株式会社東洋実業グループ
株式会社東洋実業
代表取締役　吉川智堯
札幌本社
札幌市中央区北6条西22丁目250番地14
☎（011）612―1911（代）
東京本社
新宿区西新宿1丁目26番2号（新宿野村ビル）
☎（03）345―0531（代）
大阪本社
大阪市淀川区西中島4丁目6番29号
☎（06）306―5767（代）

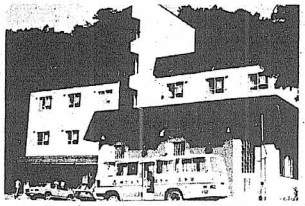
営業品目
紙業関係…紙業全般の企画・デザイン・製造加工
化成品関係…ビニール関係製品の企画・製造
システム関係…ビデオ全般における企画・製作電算機関連機器の販売・設計・製作
リプロ関係…マイクロ写真、電子コピー
繊維関係…染色、加工、印刷
食品関係…麺類ブランド商品の企画販売塩干及青果物・その他一般食品の販売
ニッセー株式会社
本社　東京都千代田区外神田４―５―４
〒101　TEL03―253―７５８１（代）
営業所　大阪・五反田・茅場町・京橋・川崎
工場　静岡県富士工場　倉庫　高島平倉庫

営業品目
アスファルト系舗装工事
セメント系舗装工事
其の他各種舗装工事
舗装に付帯する各工事
株式会社中嶋組
取締役社長　中嶋信行
東京都世田谷区中町四―一七―一三
電話（七〇二）一一三一～四番

尾道友愛山荘
ユース・ホステル

〒772　尾道市千光寺公園内
TEL.　0848－22－5554
山陽本線尾道駅下車　バス20分

磐梯友愛山荘
ユース・ホステル

〒969-31　福島県耶麻郡猪苗代町字葉山
TEL.　02426－２－3424
磐越西線猪苗代駅下車　バス10分

軽井沢友愛山荘
ユース・ホステル

〒389-01　長野県北佐久郡軽井沢町
TEL.　02674－２－2477
信越本線軽井沢駅下車　徒歩７分

北海道友愛山荘
青年の家

〒047-01　小樽市朝里川温泉2-670-3
TEL.　0134－54－7360
函館本線小樽駅下車　バス30分